



## 片柳研究所ホームページ

<https://www.teu.ac.jp/karl/>



片柳研究所ホームページには、本学研究者の研究や産官学連携等に関する情報を掲載しています。

## 産学・地域連携シーズ集 <https://www.teu.ac.jp/karl/cooperation/seeds.html>

本学研究者が行っている教育と学術研究活動の中から産学連携・地域連携・国際連携などに役立てられるシーズをまとめたものです。内容も学部の研究を反映して幅広い分野に及んでいます。



## セラミックス複合材料センター <https://www.teu.ac.jp/karl/cmc/>

セラミックス複合材料センターは国内の産学官の連携拠点としてプロジェクト推進や共同研究を行うために設立された、世界に類を見ないセラミック複合材料 (Ceramic Matrix Composites) の総合開発センターです。



## 八王子キャンパス

- 工学部
- コンピュータサイエンス学部
- メディア学部
- 応用生物学部
- 工学研究科
- バイオ・情報メディア研究科

## 蒲田キャンパス

- デザイン学部
- 医療保健学部
- デザイン学研究科
- 医療技術学研究科

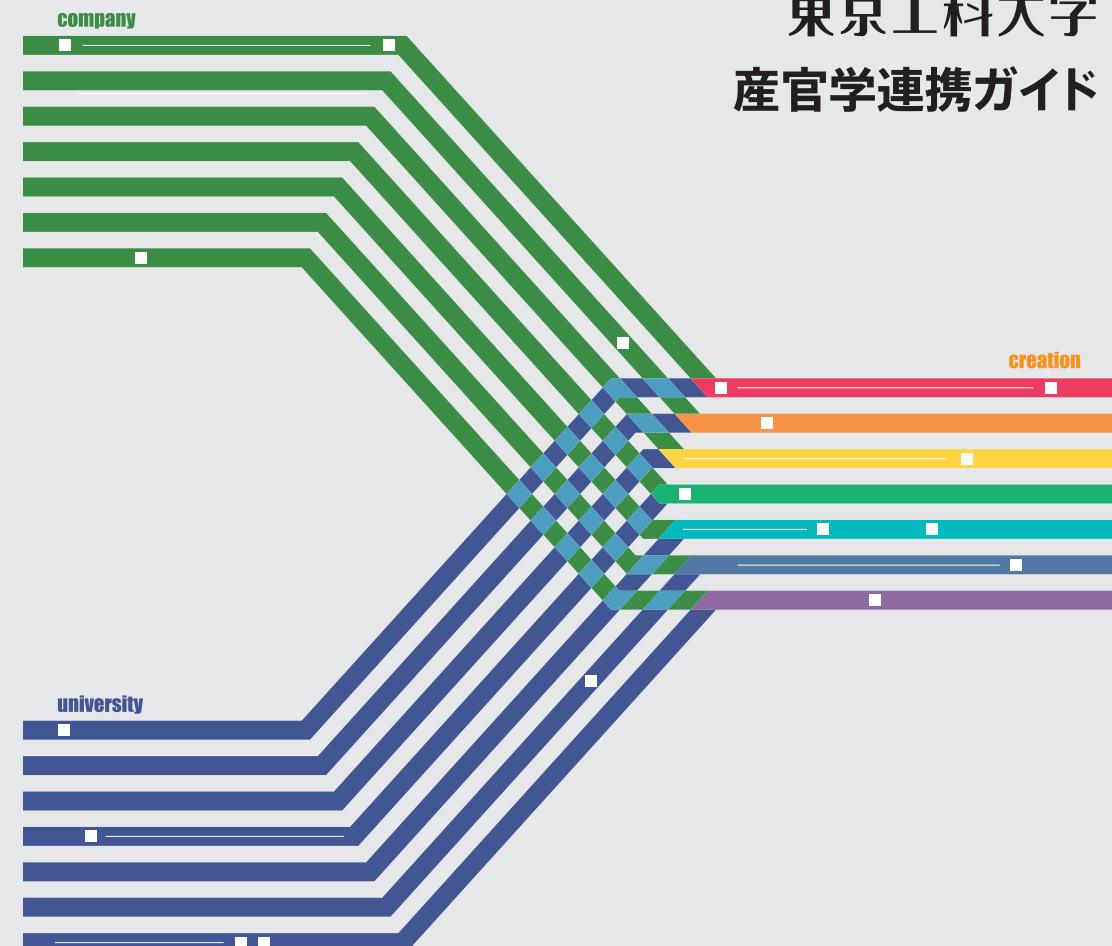
各キャンパスへのアクセスはこちらをご覧ください  
<https://www.teu.ac.jp/campus/access/006644.html>



# 東京工科大学

産官学連携ご相談窓口  
実践研究連携センター  
研究協力部 実践研究推進課  
〒192-0982  
東京都八王子市片倉町1404-1  
TEL:042-637-2441 FAX:042-637-1127  
E-mail: [jm-sangaku@stf.teu.ac.jp](mailto:jm-sangaku@stf.teu.ac.jp)  
URL: <https://www.teu.ac.jp/karl/>

Copyright 2021 Katayanagi Advanced Research Institute  
All rights reserved.



INDUSTRY-ACADEMIA  
COOPERATION  
GUIDE

# 東京工科大学

## [産官学連携の取り組み]

東京工科大学では、2030年に向けて、学生に選ばれる大学、地域から期待される大学、産業界から注目される大学に発展するために、Evolution2030という中長期計画を策定し、様々な施策を実施しています。同計画の中で、本学の持つ実学教育の特徴と知的資源を活用した本学独自の産官学連携を実現することを中期計画とし、それを達成するための組織として、実践研究連携センターを設置しました。

同センターでは、これまで、本学研究者のSDGsに関する研究を収録した「産学・地域連携シリーズ集」の制作、学内公募型の研究助成制度である「共同プロジェクト等」の実施などを行ってまいりました。

今後も、本学教員の研究成果を社会に示していくための取り組みや、産官学連携を行いやすい環境の整備に尽力していきたいと考えております。

本学の取り組みは、片柳研究所ホームページで随時、公開していくので、ぜひ、ご確認いただき、本学との連携に少しでも興味をお持ちいただけましたら幸いです。

### [サステイナブル社会推進委員会]

本学では、2019年に、SDGs推進委員会を立ち上げ、教職員へのSDGs活動への意識づけや、大学のSDGs活動の取りまとめと学外発信を行ってまいりました。

2021年3月から「カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリジョン」に参画するとともに、前出のSDGs推進委員会を「サステイナブル社会推進委員会」に改組したうえで、産学官民連携などを通じて、SDGs活動の強化に取り組んでいます。

### Sustainable Development Goals

2015年に国連サミットにて策定されたSDGs(持続可能な開発目標)とは、誰ひとり取り残さないことをを目指し、先進国と途上国が一丸となって達成すべき国際社会共通の目標とされています。本学ではこの目標の達成に貢献すべく、さまざまな取り組みを行っています。



# 実践研究連携センター

## Center for Collaborative Research and Development

東京工科大学では、初めての産官学連携の推進センターとして、2021年8月に設置されました。

### □概要

本学の、産官学連携を推進するため、独立した組織として東京工科大学実践研究連携センターを設置しました。センターでは、本学の研究資産を活用した産業界や地域との連携を図ることにより、研究力の強化と研究成果の社会還元を推進することを目的としております。

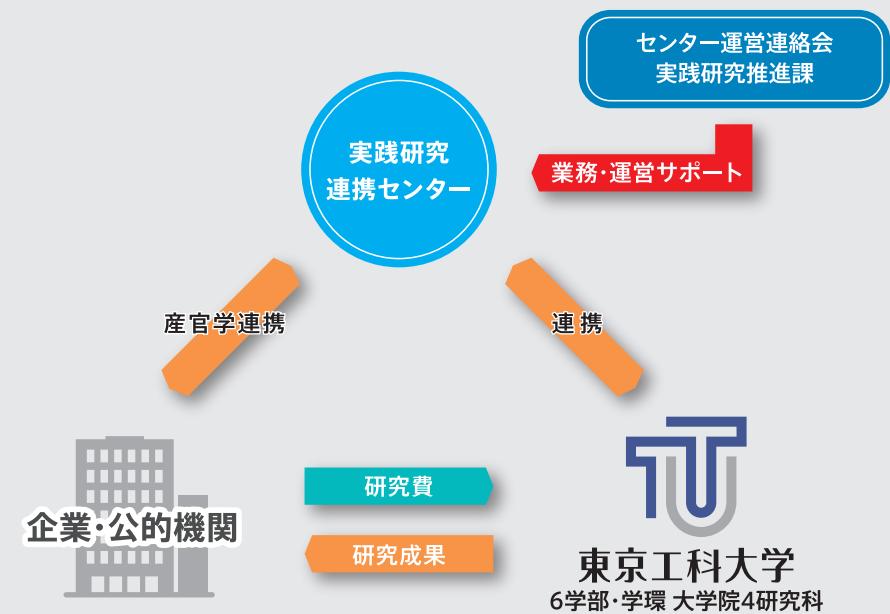
### □事業

- (1)産官学連携の企画・実施に関すること
- (2)共同研究・受託研究の推進に関すること
- (3)研究支援体制の構築に関すること
- (4)本学の研究資産の活用と発信に関すること
- (5)知的財産の管理・活用に関すること

### □実践研究連携センターのサポート体制

実践研究連携センターの活動は、センター運営連絡会と実践研究推進課が業務運営面をサポートします。

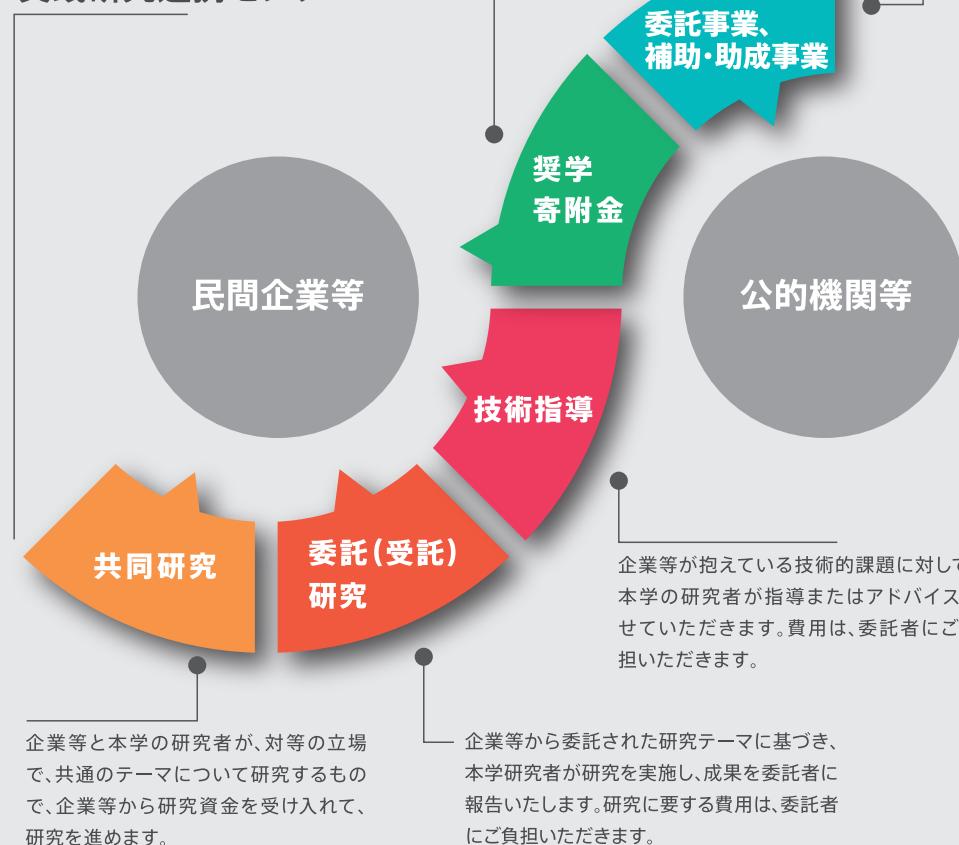
### 連携支援体制



# 産官学連携メニュー

## INDUSTRY-ACADEMIA COOPERATION MENU

### 実践研究連携センター



# 連携の流れ

## PROCEDURE TO COOPERATION



手続の詳細、申込書のダウンロードはこちらから

<https://www.teu.ac.jp/karl/cooperation/flow.html>



# よくあるご質問

## FREQUENTLY ASKED QUESTIONS

### 研究契約関連

#### Q1 研究契約の契約者は誰になりますか？

A 本学では研究契約の契約者は、学長と定めております。研究者個人が契約者になることは認めていません。

#### Q2 研究締結までどのくらいの日数を要しますか？

A 研究契約書で双方の合意が得られ、捺印済みの契約書が本学に到着してから、おおよそ2週間ほど必要になります。

#### Q3 研究契約書の様式はありますか？

A 本学の共同研究、委託(受託)研究の契約書のひな型を、片柳研究所のホームページからダウンロードできます。

#### Q4 奨学寄附金にはどのような手続きが必要ですか？

A 奨学寄附金申込書を片柳研究所のホームページからダウンロードしていただき、その申込書に記載のうえ、実践研究推進課宛てにご郵送ください。

### 研究費関連

#### Q5 研究費はどこが経理するのですか？

A 共同研究、委託(受託)研究、奨学寄附金の経理は、研究協力課で行います。研究者個人の経理は認めていません。

#### Q6 研究費は、前払いでしょうか？

A ご負担いただく研究費で研究を行いますので、原則、前払いをお願いいたします。分割払いでもお受けしておりますが、研究期間中にお支払いをお願いいたします。

#### Q7 研究費で購入した機器・備品の所有者はどこになりますか？

A 研究費を使用して本学が購入した、機器・備品は、本学の所有となります。

#### Q8 研究費の目安はありますか？

A 特に目安は設けておりませんので、連携研究者と打ち合わせのうえ、設定してください。  
なお、研究実績では、100万円前後が大半をしめております。

#### Q9 間接経費はどうなりますか？

A 事務管理費として、研究費総額の15%をご負担いただきます。

### その他

#### Q10 東京工科大学の研究者と面識がないのですが、どうしたら良いでしょうか？

A 産学連携申込書を片柳研究所ホームページからダウンロードしていただき、メールにて実践研究推進課宛にお送りください。  
折り返し、担当者よりご連絡とご相談をさせていただきます。

#### Q11 発明の帰属はどうなりますか？

原則として、本学の研究者の発明については、機関帰属となります。  
A そのため、発明の帰属等については、実践研究推進課が窓口となり相談・対応をさせていただきます。

#### Q12 特定公益増進法人として認定されていますか？

A 本学は、特定公益増進法人として認定されていますので、証明書が必要な場合は、ご連絡ください。